

令和4年度

病害虫発生予察情報

第6号

5月月報

北海道病害虫防除所 令和4年(2022年)6月15日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

I. 気象概況 札幌管区气象台発表 北海道地方気象速報

— 中旬に暖かい空気が流れ込みやすくなりかなりの高温、下旬は低気圧の影響で記録的多雨。 —

5月のはじめと終りは冷たい空気の影響で気温の低い日があったが、中旬を中心に高気圧に覆われ暖かい空気が流れ込みやすかったため、月平均気温の平年差は、北海道地方と日本海側で5月として高い方から第3位となった。

北海道地方：気温はかなり高く、降水量は平年並、日照時間は多かった。

日本海側：気温はかなり高く、降水量は多く、日照時間は平年並だった。

オホーツク海側：気温はかなり高く、降水量は多く、日照時間は多かった。

太平洋側：気温は高く、降水量は平年並、日照時間は多かった。

上旬：天気は数日の周期で変わり、低気圧や気圧の谷の影響で雨が降った日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日もあった。太平洋側では、高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、降水量は少なく、日照時間は多かった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かった。暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温はかなり高く、北海道地方と太平洋側の平均気温の平年差は、1946年の統計開始以降、5月中旬として高い方から第2位の記録となった。

下旬：天気は数日の周期で変わり、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や気圧の谷の影響で雨が降った日もあった。27日から28日にかけてと31日に低気圧の影響で全道的に雨が降り、大雨となった所もあったため、降水量はかなり多かった。日降水量は27日に白老町森野で126.0mmなど。

気候表(気温は平年差(°C)、降水量・日照時間は比(%))を示す)

	気温偏差°C	階級	降水比%	階級	日照比%	階級
北海道22 地点平均	+1.5	か高	109	並	110	多
日本海側10 地点平均	+1.4	か高	116	多	107	並
オホーツク海側4 地点平均	+2.0	か高	130	多	110	多
太平洋側8 地点平均	+1.3	高	90	並	115	多

注) 階級分布図の気温・降水量・日照時間は、概ね「高(多)」、「並」、「低(少)」の3段階で表示します。各階級の幅は、平年値の作成期間(1991～2020の30年間)における各階級の出現率が1:1:1となるように決めてあります。

なお、平年値作成期間内の上位、下位10%の範囲に入る場合は「か高(多)」、「か低(少)」(か→かなり)で表します。

II. 病害虫発生概況

注) 本資料における表中の0の表記について

0のみの場合、調査時に発生がなかったことを示す。0.0あるいは0.00などは、四捨五入により数値が表示されていないことを示す。

A. 水稻

1. ヒメトビウンカ 発生期 やや早(第1回成虫) 発生量 やや多(第1回成虫)

予察田の畦畔すくい取りによる成虫の捕獲数は、比布町で平年より多く、北斗市で平年よりやや多く、長沼町では平年並であった。畦畔すくい取りによる第1回成虫の初発期は、長沼町で5月2半旬(平年:5月4半旬)、比布町で5月3半旬(平年:5月5半旬)と平年より早く、北斗市では5月5半旬(平年:5月3半旬)と平年より遅かった。

畦畔におけるヒメトビウンカのすくい取り数

月・半旬	長沼町				比布町				北斗市			
	幼虫		成虫		幼虫		成虫		幼虫		成虫	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5月1半旬	5.0	4.7	0	2.1	5.0	8.1	0	0	5.0	1.0	0	0.5
2半旬	1.3	4.1	5.0	11.6	0	2.2	0	0	2.5	1.0	0	0.3
3半旬	0	1.6	20.0	11.0	30.0	4.4	5.0	0.6	2.5	0.3	0	1.3
4半旬	0	0.5	5.0	12.4	7.5	2.2	62.5	10.3	0	0	0	4.3
5半旬	0	0.4	3.8	5.8	5.0	1.0	225.0	35.8	0	0.3	12.5	1.5
6半旬	0	1.8	0	5.0	5.0	1.0	125.0	37.4	2.5	0	2.5	3.3
平年数	10				10				10			

B. 秋まき小麦

1. 赤さび病 発生期 やや遅 発生量 並

予察ほの「きたほなみ」における初発期は、長沼町で平年より早く、芽室町では平年よりやや遅く、訓子府町では平年より遅かった。発生量はいずれの地点とも平年並であった。

一般ほにおける巡回調査結果では、空知及び上川地方で発生が認められた。

予察ほにおける赤さび病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	きたほなみ	4月12日	4月22日	10
芽室町	きたほなみ	5月18日	5月15日	10
訓子府町	きたほなみ	6月6日	5月12日	10

予察ほにおける赤さび病の発生状況

地点	品種名	調査葉位	病斑面積率(%)						平年数
			5月2半旬		5月4半旬		5月6半旬		
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	全葉	0.06	0.04	0.31	0.10	0.67	0.70	10
		最上位葉	0	0	0	0	0.02	0.02	
		最上-1葉	0.01	0.01	0.00	0.00	0.24	0.22	
芽室町	きたほなみ	全葉	0	0.01	0.00	0.02	0.00	0.02	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0	
		最上-1葉	0	0	0	0.01	0	0.00	
訓子府町	きたほなみ	全葉	0	0.01	0	0.01	0	0.01	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0	
		最上-1葉	0	0	0	0	0	0	

一般ほにおける赤さび病の巡回調査結果

普及センター	病葉率(%)				普及センター	病葉率(%)					
	5月3半旬		5月6半旬			5月3半旬		5月6半旬			
	本年	前年	本年	前年		本年	前年	本年	前年		
空知 本所	2.7	0	0	0.5	留萌 本所	0	0	0	0		
	0	0	0	0		網走 本所	—	—	0	0	
	0	0	0	0			清里	—	—	0	0
	0	0.7	0	0			網走	—	—	0	0
0	0	0	0	美幌	—		—	0	0		
石狩 本所	0	0	0	0	遠軽	—	—	0	0		
	0	0	0	0	紋別	—	—	0	0		
後志 本所	0	0	0	0	十勝 本所	0	0	0	0		
胆振 本所	0	0	0	2.7		東部	0	0	0	0	
	0	0	0	0		東北部	0	0	0	0	
檜山 本所	0	0	0	0		北部	0	0	0	0	
	0	0	0	0		西部	0	0	0	0	
上川 本所	0	0	0	0		南部	0	0	0	0	
	0	0	0	0							
	0	0	0	0							
	0	0	0.7	0							
名寄	0	0	0	0							

注1) — : 調査時期外のため未調査
注2) 病葉率: 最上位葉の1枚下の葉の病葉率

2. うどんこ病 発生期 並 発生量 並

予察ほの「きたほなみ」における初発期は、長沼町で平年よりやや早く、芽室町では平年並、訓子府町では平年より遅かった。発生量は、いずれの地点とも平年並であった。

一般ほにおける巡回調査結果では、留萌、上川及びオホーツク地方で発生が認められている。

予察ほにおけるうどんこ病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼	きたほなみ	4月29日	5月4日	10
芽室	きたほなみ	5月18日	5月19日	10
訓子府	きたほなみ	5月25日	5月9日	10

予察ほにおけるうどんこ病の発生状況

地点	品種名	調査業位	病斑面積率(%)						平年数
			5月2半旬		5月4半旬		5月6半旬		
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	全業	0.06	0.07	0.05	0.07	0.11	0.07	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0.00	
		最上-1葉	0.04	0.01	0	0.00	0	0.03	
芽室町	きたほなみ	全業	0	0.00	0	0.00	0	0.01	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0	
		最上-1葉	0	0	0	0.00	0	0.00	
訓子府町	きたほなみ	全業	0	0.04	0	0.05	0.01	0.03	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0	
		最上-1葉	0	0.00	0	0.01	0	0	

一般ほでのうどんこ病の巡回調査結果

普及センター	病葉率(%)				普及センター	病葉率(%)					
	5月3半旬		5月6半旬			5月3半旬		5月6半旬			
	本年	前年	本年	前年		本年	前年	本年	前年		
空知 本所	0	0	0	0	留萌 本所	0.3	0	0	0		
	0	0	0	0		網走 本所	—	—	0.4	0	
	0	0	0	0			清里	—	—	0	3.3
	0	0	0	0			網走	—	—	0	0
0	0	0	0	美幌	—		—	0	0		
石狩 本所	0	0	0	0	遠軽	—	—	0	0		
	0	0	0	0	紋別	—	—	0	0		
後志 本所	0	0	0	0	十勝 本所	0	0	0	0		
	0	0	0	0		東部	0	0	0	0	
胆振 本所	0	0	0	4.0		東北部	0	0	0	0	
	0	0	0	0		北部	0	0	0	0	
檜山 本所	0	0	0	0		西部	0	0	0	0	
	0	0	0	0		南部	0	0	0	0	
上川 本所	0	0	0	0							
	0	0	0	0							
	0	0	0	0							
	0	0	0.3	0							
	0	0	0	0							

注1) — : 調査時期外のため未調査
 注2) 病葉率: 最上位葉の1枚下の葉の病葉率

C. 春まき小麦

1. ムギキモグリバエ

発生期 やや早 発生量 多

予察ほのすくい取りによる成虫の初発期は、長沼町で5月10日（平年：5月18日）と平年より早く、比布町で5月17日（平年：5月21日）と平年よりやや早かった。成虫のすくい取り数は、長沼町、比布町ともに平年より多かった。

予察ほにおけるムギキモグリバエのすくい取り数

月・半旬	長沼町		比布町	
	本年	平年	本年	平年
5月1半旬	—	0	0	—
2半旬	10.0	—	0	—
3半旬	67.5	8.4	0	3.8
4半旬	95.8	9.0	32.5	9.1
5半旬	330.0	19.9	310.0	43.5
6半旬	193.0	43.1	537.5	104.8
平年数	10		10	

注1) 20回振り×5日分換算値
 注2) —は平年値なし

D. てんさい

1. テンサイトビハムシ 発生期 やや早 発生量 やや多

予察ほにおける被害の初発期は、長沼町で5月2半旬（平年：5月3半旬）、芽室町で5月3半旬（平年：5月4半旬）、訓子府町で5月3半旬（平年：5月4半旬）といずれの地点においても平年よりやや早かった。被害程度は、芽室町で平年より高く、長沼町及び訓子府町では平年よりやや高かった。いずれの地点においても中旬以降に急激に被害が増加した。

予察ほにおけるテンサイトビハムシによる食害程度

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5月1半旬	0	1.6	0	0	0	-
2半旬	0	3.0	0	0.6	0	0.1
3半旬	21	7.4	3	0.9	6	3.6
4半旬	26	15.3	10	1.9	15	7.0
5半旬	28	18.7	11	4.2	22	12.9
6半旬	27	27.6	12	7.7	24	19.7
平年数	10		10		9	

E. あぶらな科野菜

1. コナガ 発生量 並 <5月9日付け注意報第1号発表>

フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数は、芽室町および訓子府町で平年よりやや多く、長沼町、比布町及び北斗市で平年並であった。

コナガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5月1半旬	1	1.8	13	40.7	31	9.4	3	4.0	0	1.1
2半旬	11	5.7	66	37.9	29	16.7	11	4.8	3	1.7
3半旬	8	6.0	22	81.1	6	22.0	7	6.2	11	2.0
4半旬	12	6.6	58	62.3	8	27.4	6	5.5	2	2.7
5半旬	17	14.5	164	74.4	51	26.8	18	8.7	16	7.8
6半旬	8	21.0	50	49.0	35	40.2	5	7.7	2	12.1
平年数	10		7		10		10		10	

F. りんご

1. モニリア病 発生期 ー 発生量 少

長沼町（無防除）と余市町（慣行防除）の予察園では、葉腐れ及び花腐れは認められなかった。一般園における巡回調査結果では、発生は認められていない。

予察園におけるモニリア病の初発期

地点	品種名	防除有無	葉腐れ		花腐れ		平年数
			本年	平年	本年	平年	
長沼町	昂林	無	未発生	5月21日	未発生	-	10
余市町B	昂林	有	未発生	-			-

予察園におけるモニリア病の発生状況

地点	品種名	防除有無	調査時期	花葉叢率(%)				平年数
				葉腐れ		花腐れ		
				本年	平年	本年	平年	
長沼町	昂林	無	5月1半旬	0	0	0	0	10
			2半旬	0	0	0	0	
			3半旬	0	0	0	0	
			4半旬	0	0.02	0	0	
			5半旬	0	0.05	0	0	
			6半旬	0	0.05	0	0	
余市町B	昂林	有	5月1週目	0	-			-
			2週目	0	-			
			3週目	0	-			
			4週目	0	-			
			5週目	0	-			

一般園におけるモニリア病の巡回調査結果

普及センター		発病花葉叢数	
		本年	前年
後志	北後志	0	0
胆振	本所	0	0
渡島	本所	0	0
留萌	南留萌	0	0

注) 1樹当たり発病花葉叢数、10樹調査(開花直前)

2. ハマキムシ類 発生期 やや遅 発生量 多

ミダレカクモンハマキ越冬卵のふ化最盛期は、長沼町（無防除）の予察園で5月11日（平年：5月8日）と平年よりやや遅かった。開花直前の被害花叢率は、長沼町で平年より高かった。余市町（慣行防除）では越冬卵及び被害が認められなかった。

ハマキムシ類の越冬卵ふ化状況と被害発生状況

地点	長沼町		余市町A		余市町B	
	無		有		有	
防除有無	本年	平年	本年	平年	本年	平年
項目	5月11日	5月8日	-	5月6日		
ミダレカクモンハマキふ化最盛期	5月11日	5月8日	-	5月6日		
開花直前被害花叢率(%)	38.8	12.7	0	0.0	0	0.1
平年数	10		10		10	

BLASTAMならびにFLABSの運用について

水稲の葉いもち発生予察システム「BLASTAM(ブラスタム)」による広域発生期判定結果、ならびにばれいしょの疫病初発予測システム「FLABS(フラブス)」による予測結果を防除所のホームページに掲載します。

アドレス(<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>)または「北海道病害虫防除所」で検索してください。

「BLASTAM」では、道内約50地点について、葉いもちの感染好適日を判定します。

「FLABS」では、道内約25地点の農作物生育状況調査ほ場(作況ほ)等の萌芽日をもとに疫病の初発日予測を行います。

「BLASTAM」、「FLABS」とも随時更新していきますので、計画的な防除にお役立て下さい。

令和4年

6月1日～8月31日は**農薬危害防止運動実施期間**です！

北海道では、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、農薬を使用する機会が増える6月から8月を期間として、農薬の安全かつ適正な使用や保管管理等を推進する「**農薬危害防止運動**」を実施します。

農薬は 周りに配慮し 正しく使用!

周囲への飛散防止!
農薬散布は無風 または 風が弱いとき

周囲への配慮を!
周辺住民の方に 事前にお知らせ

ラベルの確認、帳簿に記録

土壌くん蒸剤は 必ず被覆

誤飲防止のため 移し替え厳禁

詳しくはこちら ▶

https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/ 農薬の適正使用 農林水産省 検索

令和4年度農薬危害防止運動 農林水産省・厚生労働省・環境省・都道府県共催

北海道

令和4年6月1日～8月31日

★ 農薬情報の掲載サイト

農薬の登録情報や農薬取締法などについては、農林水産省ホームページの「農薬コーナー」をご覧ください。

URL <https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/>

北海道農政部生産振興局技術普及課
(TEL 011-231-4111 (内線)27-838)
北海道病害虫防除所
(TEL 0123-89-2080)
各総合振興局・振興局農務課